









收受年月日	議 長	事務局長	書 記
26.8.8			
第 号			



町民との意見交換会報告書

平成 26 年 8 月 8 日

埴町議会議長 鈴木道男 様

議会議員 小林達信 
 同 割貝寿一 
 同 小峰由久 
 同 吉田克則 
 同 藤田恵二 

1. 日時、場所、参加者及び出席議員

日時	場所	参加者	出席議員
7月29日(火) 19:00~20:40	埴町公民館片貝分館	8人	吉田克則、小峰由久 割貝寿一、◎小林達信 鈴木道男
7月31日(木) 19:00~20:50	埴町公民館常豊地区館	9人	吉田克則、小峰由久 割貝寿一、◎小林達信 藤田恵二

2. 内 容

別紙のとおり

7月31日 常豊公民館 出席者 9名

○ 基本条例への「意見」(直向)

- 議員自身による物なの
- 骨子案の全町民への公開が必要では
- なのたのたのおかしい、制定プロセスの中で議会
の成長していくと思う
- 町民の意見を無視できないうに
- 事務局の強化が必要
- 制定後の成果評価を行うべき
- 町民の立場に立つべき
- 議会報の充実を評価
- 多いに先進地視察をし政策立案に生かして
欲しい

○ 町政全般

- 教育に経済は切りはなして
- 常小のオープンスペースは改修すべき
- 健康センターの途中経過の可視化を
- 老人ホームが欲しい
- 厚生病院の充実に議会は行動するべき
低辺からの持ち上げも必要
- 子供の見守りの充実を計って欲しい
- 西河内に係留している除染工の保費は
0年の約束、来年は期限が来るので役場の庭に
おて行く。
- 議員報酬・定数の見直しは骨子案と
議会報に違いがある

7月29日 片貝地区館 出席者8名

- 全体的に条例を制定しているのは
- 情報公開としてインターネットの活用は評価できる、議員の質問力の向上につながると思う
- 県道、市道、広域農道への要望あり
- イノシシ駆除に力を入れてほしい
 - 被害地区へのワナの貸し付けをしてはどうか
 - 捕獲の確認を猟友会が行っているが、役場への報告と二重手向である。
 - 猟友会がやっている
- 転入者への対応が場当りの対応である
空家対策も含め条例をつくってはどうか
- 結婚問題に本気で取り組んでほしい
- 生活保護受給者に対するきめ細かな対応を
(主に不満)